

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研Advance

②施設・事業所情報

名称： ハートの森保育園	種別： 認可保育園
代表者氏名： 園長 清水 崇司	定員（利用人数）： 70（79）名
所在地： 244-0801 神奈川県横浜市戸塚区品濃町1024	
TEL： 045-825-8080	ホームページ： http://heart.ryobi.or.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日	2013年4月1日
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 龍美
職員数	常勤職員： 20名 非常勤職員： 15名
専門職員	保育士 27名 栄養士 3名
	看護師 2名 調理員 2名
	事務員 1名
施設・設備の概要	居室数 保育室3室、調理室、事務室、休憩室 設備等 園庭、エレベーター、駐車場、シャワー室

③理念・基本方針

龍美の理念（保育哲学）
 世界との繋がりがますます強くなっていく時代
 これからは今までのように人から与えられた価値観やルールでものを考えるのではなく、社会がどのように変化しても自らが自らの意思で考え、必要なことを学びながら創造的に未来を創り出していく、そんな子どもたちを私たち龍美は育てていきたいと思っています

龍美の保育方針
 これからまさに世界を学び始める乳幼児期の子どもたち
 その子どもたちの五感をひらき持つ力を最大限に広げ未来の世界に自分らしく生きる情緒豊かな人を育てたいそれが私たち龍美の思いです

④施設・事業所の特徴的な取組

園は、自然豊かな地域に位置し、子どもたちは近隣の木々豊かな公園に散歩に出かけています。園庭では、体を思い切り動かして遊び、夏はプール遊びや水遊びを行うほか、プランターで野菜の栽培を行っています。各保育室は、背の低い棚やマットなどを使って、コーナーをいくつか設定し、子どもが自分で好きな遊びを選んで、展開できるように環境づくりを行っています。1階の「ハート文庫」には、様々な種類の絵本を用意し、ソファと円形のテーブルを設置して、ゆったりと絵本を楽しむ空間となっています。

3～5歳児は縦割りの2つのグループの異年齢保育を行っており、子どもたちの興味や探求心を生かして、子ども同士で話し合ったり、調べたりしながら主体的に活動を広げていく保育手法の「プロジェクト・アプローチ」を取り入れています。また、外部の専門講師による「えいごあそび」(全クラス)、「ぐちゃぐちゃあそび」(全クラス)、「わらべうた」(0～2歳児)、「たいそうあそび」(3～5歳児)、「ダンスあそび」(3～5歳児)、「書道」(5歳児)の活動を行っています。

年間行事の「なつまつり」や「うんどうかい」、「おたのしみかい」を通して、子どもの成長の姿を保護者と共有しています。また、保育参加と保育参観を随時受け付けています。

地域の未就園児の親子を対象に、専門講師による「パパもママも保育園でヨガを楽しもう」を開催し、参加者から育児に関する相談にも対応しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2025年6月23日 (契約日)～ 2026年2月17日 (評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	2回 (令和2年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆保育実践の振り返りを通して、専門性と質の向上に向けて取り組んでいます

クラス会議では、職員個々が子ども一人ひとりの様子や配慮事項について気づきを伝え合い、保育実践の振り返りを丁寧に行っています。毎月実施している職員個々の自己評価では、月間の目標設定と前月の目標の振り返りを記載しています。また、年度初めには、年間の個人目標と担当するクラスの目標、達成するための取り組み内容を設定し、年度の中間時期と年度末に振り返りを行っています。医療的ケア児やアレルギー疾患のある子ども、障がいのある子どもへの対応については、ケース会議を行うなどして個々の状況に応じた保育の実践に努めるとともに、保育士、看護師、栄養士で連携を図りながら、専門知識を深められるように研鑽を積んでいます。

◆一人ひとりの思いや発想をみんなで共有できる豊かな経験につなげています

0～2歳児クラスでは、個々の様子を細やかに個別日誌に記録して、個性を尊重した保育の実践につなげています。3～5歳児クラスでは、一人ひとりの思いや発想を大切に活動につなげています。職員は子どものつぶやきや気づきから、興味の広がりや想定して保育環境を整えています。「セミを捕まえたい」という思いから虫取り網を製作し、作り方をみんなで考えて完成させ、さらには、材料のネットを使ってハンモック作りに発展しています。また、粘土のパン作りから「本物を作りたい」という気持ちにつながり、みんなでレシピや材料を調べて、本格的なパン作りに挑戦しました。一つ一つの経験が豊かな財産となるように保育を実践しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は第三者評価を受審し、自園の保育や運営を深く見つめ直す貴重な機会となりました。評価では、子ども一人ひとりの気持ちを尊重する姿勢や日々の取り組みを高く評価していただき、職員一同大きな励みとなりました。

また、保護者アンケートを通じて、私たちが今後取り組むべき新たな課題も明確になりました。いただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、より良い園づくりへの道標といたします。今回の結果を糧に、現状に満足することなく、子どもたちが安心して笑顔で過ごせる環境を目指して、職員一丸となってサービスの向上に努めてまいります。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり